

IZUNO TIMES

Vol.72

2017年7月20日 発行 第72号
島根県立出雲農林高校 PTA
〒693-0046 出雲市下横町950

2年生
2名

3年生
24名

速報

測量士補試験

合格!!

出雲農林高校
イメージキャラクター
モーリン



TOPICS

- ★校長より
- ★PTA会長より
- ★出雲農林高校発表会
- ★県総体結果
- ★各学科より
- ★家畜審査競技県大会



出雲農林高校
メールシステム登録

学校—保護者間の連絡用に
携帯メールを利用しています。
災害時などの緊急連絡や、
日常の諸連絡の一部を
携帯メールにて行います。

<http://www.izuno.ed.jp>



2017 出雲農林高校 輝く軌跡



校長 三島 一友

PTAの皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、本年は梅雨とは名ばかりで降雨が少なく、学校の農場でも野菜や果樹の栽培等において灌水に苦労しています。特に1年生は「農業と環境」の授業において自分に割り当てられた畑で、スイートコーン・ナスビ・トマト等の栽培に取り組んでおります。毎朝、除草や灌水に早朝より出かけ、生命の逞しさや自然への

畏敬の念を学ぶ貴重な体験をしています。6月17日に行われました「出雲農林高校発表会」においては、沢山の保護者の皆様に出雲市民会館に足を運んでいただきました。改めて保護者の皆様の本校に寄せる期待の大きさを実感いたしました。ありがとうございます。

さて、今学期を振り返りますと地域と連携した学習活動に成果がありました。その一端をご紹介します。

- ① 5月12日「ぶどう課題研究用ハウス贈呈及び苗木植栽式」食品科学科果樹・醸造コース専攻生徒による「柳田ブドウ苗」の接ぎ木苗生産ハウスを譲渡して頂きました。
- ② 6月15日「出雲コーチン利用促進協議会の発足！」平成28年度出雲農林高校発表会において出雲コーチンの種の保存と普及拡大をテーマとした発表から一年、関係機関と連携した取り組みは更なる広がりを見せ次のステージへ移行することとなりました。
- ③ 6月20日「出雲農林高校の若雄1区、県代表に！」9月に宮城県で開催される全国和牛能力共進会へ出品決定。5年に一度開催される全国の優秀な和牛を一堂に集め開催される「全国和牛能力共進会」、種雄牛の部に本校で生まれた「茂華松」号が出品されることに決定しました。動物科学科3年 秦 祥太郎さんは「このような牛を育てられたのは僕らの誇りです。一緒に宮城県へ行って審査を見守りたい。」と語ってくれました。

このような成果は、昨年度から始まった学習や課題研究を支援するための「出雲ご縁コンソーシアム」構想に則り、島根大学など高等教育機関、農業技術センターなどの農業専門機関、古代出雲歴史博物館、市内民間企業と一体となった産官学連携が確実に深化発展を遂げた結果であると考えます。成果の背景は、生徒諸君の日頃の真摯な学習態度、弛まぬ研鑽があつてこそ、関係の皆様から信頼され支援が得られているのだと肝に銘じております。私たち教職員は日々の学習活動で基礎学力を含めた、確かな学びをしっかりと育むことができるように自覚と責任をもって取り組んでまいります。

部活動で嬉しいニュースが飛び込んできました。カヌー部の3名（中尾勇稀さん・中尾一稀さん・石原起人さん）がチェコで9月から開催されますカヌースプリントジュニアオリンピックホープスに男子カナディアン日本代表選手に選ばれました。

最後になりましたが、日頃らご支援を賜ります保護者の皆様、関係機関の皆様、卒業生会「耕魂会」の皆様へ深甚なる感謝の意を表するとともに、今後も引き続きご指導やご支援を賜りますようお願い申し上げます。今学期の報告とさせていただきます。

5月12日

ぶどう苗木生産セレモニーが開催されました!

産官学連携によるぶどう優良新品種苗の育成に向けて、JAしまね出雲ぶどう部会よりぶどう育苗ハウスを貸与することになりました。

セレモニーでは、育苗ハウスの竣工式とぶどう苗の植栽式を行いました。

ぶどう品種の苗木生産の学習・生産者の交流、
ぶどう課題研究用ハウス植栽式

